損益計算書（研究振興勘定）

（平成20年４月１日～平成21年３月31日）

（単位：円）

経常費用			
研究業務費			
研究開発振興費	1,200,108,912	1,200,108,912	
一般管理費		3,624,756	
経常費用合計			1,203,733,668
経常収益			
財務収益			
受取利息	189,712		
有価証券利息	4,048,599	4,238,311	
経常収益合計			4,238,311
経常損失			1,199,495,357
当期純損失			1,199,495,357
当期総損失			1,199,495,357

キャッシュ・フロー計算書（研究振興勘定）

（平成20年４月１日～平成21年３月31日）

（単位：円）

Ⅰ　業務活動によるキャッシュ・フロー	
研究開発振興業務支出	△1,205,415,375
その他の業務支出	△3,847,589
小計	△1,209,262,964
利息の受取額	4,349,712
業務活動によるキャッシュ・フロー	△1,204,913,252
Ⅱ　財務活動によるキャッシュ・フロー	
政府出資金の受入による収入	1,200,000,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,200,000,000
Ⅲ　資金減少額	△4,913,252
Ⅳ　資金期首残高	10,310,187
Ⅴ　資金期末残高	5,396,935

損失の処理に関する書類（研究振興勘定）

（平成21年３月31日）

（単位：円）

項目	金額	
Ⅰ　当期未処理損失		△5,370,607,621
当期総損失	△1,199,495,357	
前期繰越欠損金	△4,171,112,264	
Ⅱ　次期繰越欠損金		△5,370,607,621

行政サービス実施コスト計算書（研究振興勘定）

（平成20年４月１日～平成21年３月31日）

（単位：円）

Ⅰ　業務費用			
⑴　損益計算書上の費用			
研究業務費			
研究開発振興費	1,200,108,912		
一般管理費	3,624,756	1,203,733,668	
⑵　（控除）自己収入等			
財務収益	△4,238,311	△4,238,311	
業務費用合計			1,199,495,357
Ⅱ　機会費用			
政府出資等の機会費用			67,730,001
Ⅲ　行政サービス実施コスト			1,267,225,358

注　記

Ⅰ．重要な会計方針

１．減価償却の会計処理方法

有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりです。

工具器具備品　４年～５年

２．有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券

償却原価法（定額法）によっております。

３．引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、個別債権ごとに回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上する方針としています。なお、当事業年度末においては、回収不能見込額はありません。

４．行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

政府出資等の機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の平成21年３月末利回りを参考に1.340％で計算しております。

５．消費税等の会計処理

税込方式によっております。

Ⅱ．貸借対照表関係

長期性預金は、期日前に解約できる権利を金融機関が保有するコーラブル預金であり、当研究所が期限前に解約する場合には清算金を支払うこととなります。

Ⅲ．損益計算書関係

研究開発振興費は、医薬品・医療機器の実用化段階の研究をベンチャー企業等に研究委託する費用であります。また、その成果により得た収益については、一部を納付してもらうことになっております。

Ⅳ．キャッシュ・フロー計算書関係

資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金　5,396,935円

Ⅴ．重要な債務負担行為

該当事項はありません。

Ⅵ．重要な後発事象

該当事項はありません。